1. 図書館の分布
2. 博物館の分布
3. 研究機関の分布

1. 図書館の分布

1974年10月1日現在のわが国の公共図書館は約1,000館であり、そのうち都道府県立約80館、市区町村立約890館、私立約30館である。人口100万人あたりの図書館は約9館である。

また国立の図書館としては国立国会図書館があり、その分館や支部が国会や各省庁などにおかれている。

蔵書数は、国立国会図書館（本館と国会分館の蔵書を加えたもの）が、250万冊をこえるが、都道府県立の図書館はもっとも多いところで約60万冊であり、市区町村立の図書館の80%は蔵書5万冊未満である。私立図書館は20万冊台2館、10万冊台4館、そのほかは10万冊未満となっている。

人口100人あたりの蔵書冊数は、全国平均30冊であり、もっとも多いところで富山県の91冊、少ないところで兵庫県、和歌山県の19冊、茨城県の16冊、沖縄県の5冊となっている。

司書1人あたりの蔵書冊数は全国平均で11,800冊である。

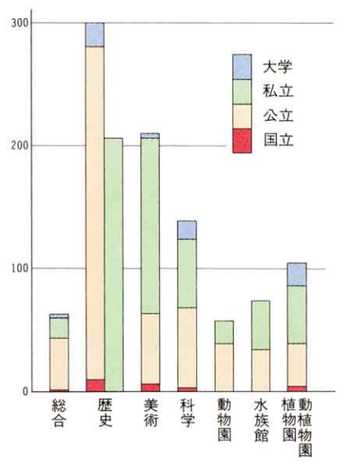
〔凡例と作図の要点〕

1．この図は1974年10月1日現在の公共図書館および国立図書館を表わした。
2．公共図書館は、一般の人が利用できる図書館で、都道府県立、市町村立および私立のものがあり、図書館法を適用される。一般の人が利用できない官庁、学校、会社などに付設されている図書館はふくまれない。国立図書館は、国立国会図書館法に基づくもので、国立国会図書館本館のほかに国会分館、各省庁などに約30の支部図書館、支部上野図書館と支部東洋文庫がある。
3．公共図書館は本館、分館をそれぞれ1館として扱い記号で表示した。国立図書館は、公共性のある国会図書館本館、上野図書館、東洋文庫だけを表わし、国会分館と各省庁内の支部図書館は省略した。

〔資料〕

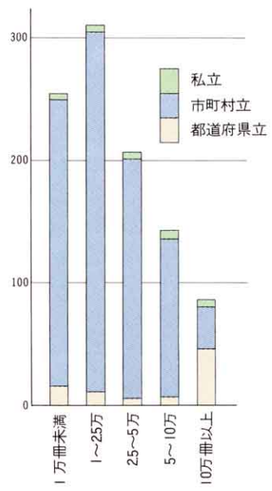
1．都道府県資料
2．日本図書館協会，日本の図書館，1972

館種別設置者別博物館数（1973）

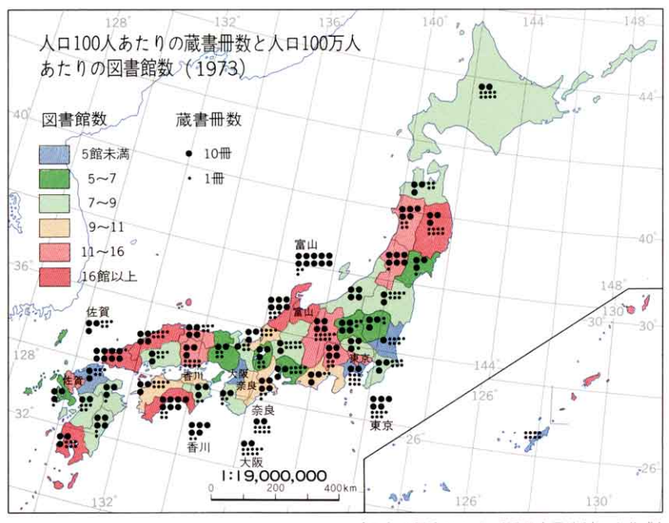


（日本の博物館総覧から作成）

蔵書数別設置者別図書館数（1974）



（都道府県資料から作成）



（日本の図書館および都道府県資料から作成）

2. 博物館の分布

1973年4月1日現在のわが国の博物館は1,147館であり、そのうち総合博物館61館、科学博物館139館、歴史博物館504館、美術館210館、動物園57園、水族館71館、植物園96園、動植物園9園である。博物館のうち、登録博物館167館、博物館相当施設179館、その他の博物館802館である。総合博物館の約半数は登録博物館である。また博物館の設立者別では、国立24、公立541、私立517、大学付属65である。

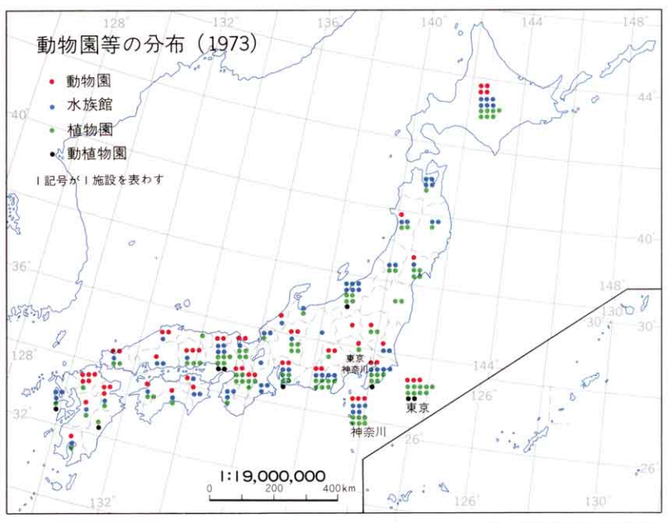
博物館は北海道でもっとも多く、つぎに東京都に多い。国立の博物館の半数が東京都に集中し、私立の博物館、大学付属の博物館は東京都でもっとも多い。

〔凡例と作図の要点〕

1．登録博物館は博物館法によって登録された博物館であり、事業内容、博物館資料、開館日数（年間150日以上）、学芸員の配置などの基準をみたしている博物館である。
2．博物館相当施設は、博物館の事業に類似する事業を行う施設であり、文部大臣または都道府県教育委員会によって文部省令の定めにもとづき指定された博物館である。開館日数（年間100日以上）、学芸員に相当する者の配置などを指定基準としている。
3．その他の博物館は登録博物館、博物館相当施設に該当しない博物館である。

〔資料〕

1．日本博物館協会，日本の博物館総覧，1970
2．日本博物館協会，博物館ニュース，昭和46年10月25日、47年7月25日、48年7月25日各号



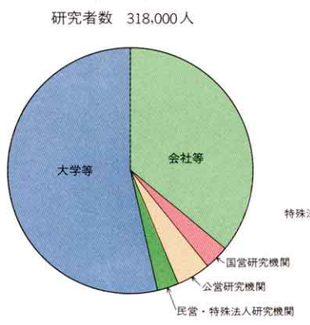
（日本の博物館総覧から作成）

3. 研究機関の分布

わが国の研究機関は1972年10月1日現在で約17,000機関である。設置者別では国立105機関、公立620機関、民営と特殊法人289機関、会社等（資本金100万円以上の会社の研究所あるいは研究部）14,397機関、大学等（大学の学部、大学付置研究所、短期大学、高等専門学校および国立大学共同利用機関）1,610機関（その内訳は国立466、公立120、私立1,024）である。

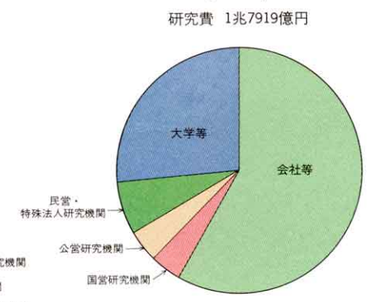
研究者（研究補助者をのぞく）は、1972年4月1日現在で31.8万人であり、そのうち会社などの研究者が11.5万人、大学などの研究者が17.1万人、国公立、民営、特殊法人の研究者が3.2万人である。研究者の70.5%にあたる22.4万人は自然科学部門の研究に従事する。

研究機関別研究者の割合（1972）



（科学技術調査報告から作成）

研究機関別研究費の割合（1972）



（科学技術調査報告から作成）

わが国の1972年の研究費は1兆7919億円である。そのうち会社等の研究費は1兆449億円、国公立・民営・特殊法人の研究機関の研究費は2683億円、大学等の研究費は4787億円である。研究費の88.5%にあたる1兆5867億円は自然科学部門の研究に使われる。自然科学部門の研究者1人あたりの研究費は708万円であり、設置者別にみると国公立・民営・特殊法人の研究機関で875万円、会社などで910万円、大学などで359万円である。

〔凡例と作図の要点〕

この図に表わした研究機関は、「全国研究機関総覧・日本学術会議編（昭和47年10月1日現在）」に集録された2,320機関であり、その区分と採用の基準はつぎのとおりである。

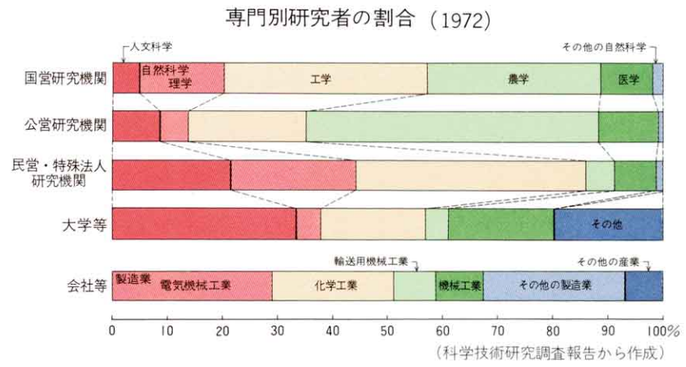
1．国・公立の研究機関は、独立した研究施設をもち、自身で調査研究、試験研究を行う機関。
2．民間研究機関は、民営と特殊法人の研究機関、公益法人研究機関および会社等の研究機関である。会社等の研究機関は資本金10億円以上の会社の付属研究所、研究部、技術開発課、試験室などであり、研究活動を行っている機関である。
3．大学関係の研究機関は、国立大学共同利用機関、国立大学付置研究機関、国立大学学部付属研究施設、公立大学付置研究機関、私立大学付置研究機関などである。大学学部は含まれない。

なお、解説面における研究機関数、研究者数、研究費については科学技術研究調査報告を使用した。

〔資料〕

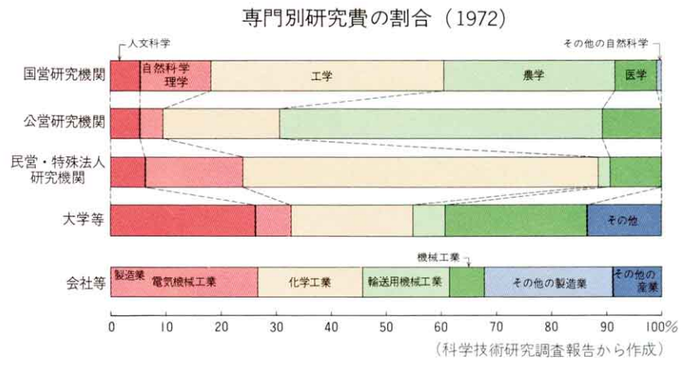
1．日本学術会議事務局，昭和49年版全国研究機関総覧
2．総理府統計局，昭和48年科学技術研究調査報告

専門別研究者の割合（1972）



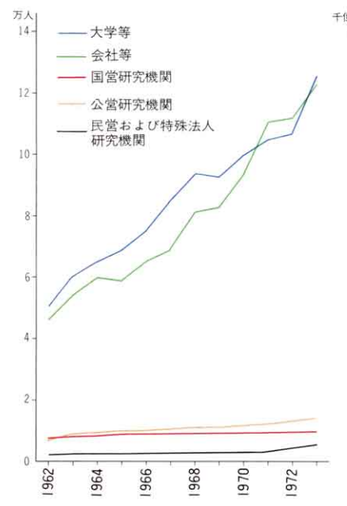
（科学技術研究調査報告から作成）

専門別研究費の割合（1972）



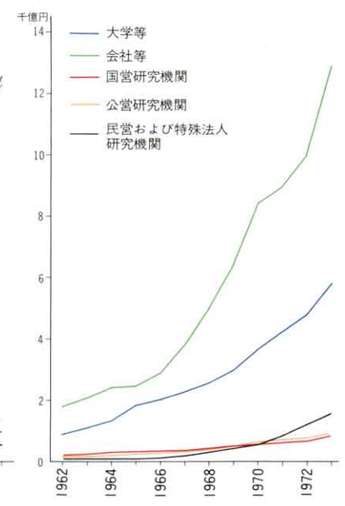
（科学技術研究調査報告から作成）

研究本務者数の推移



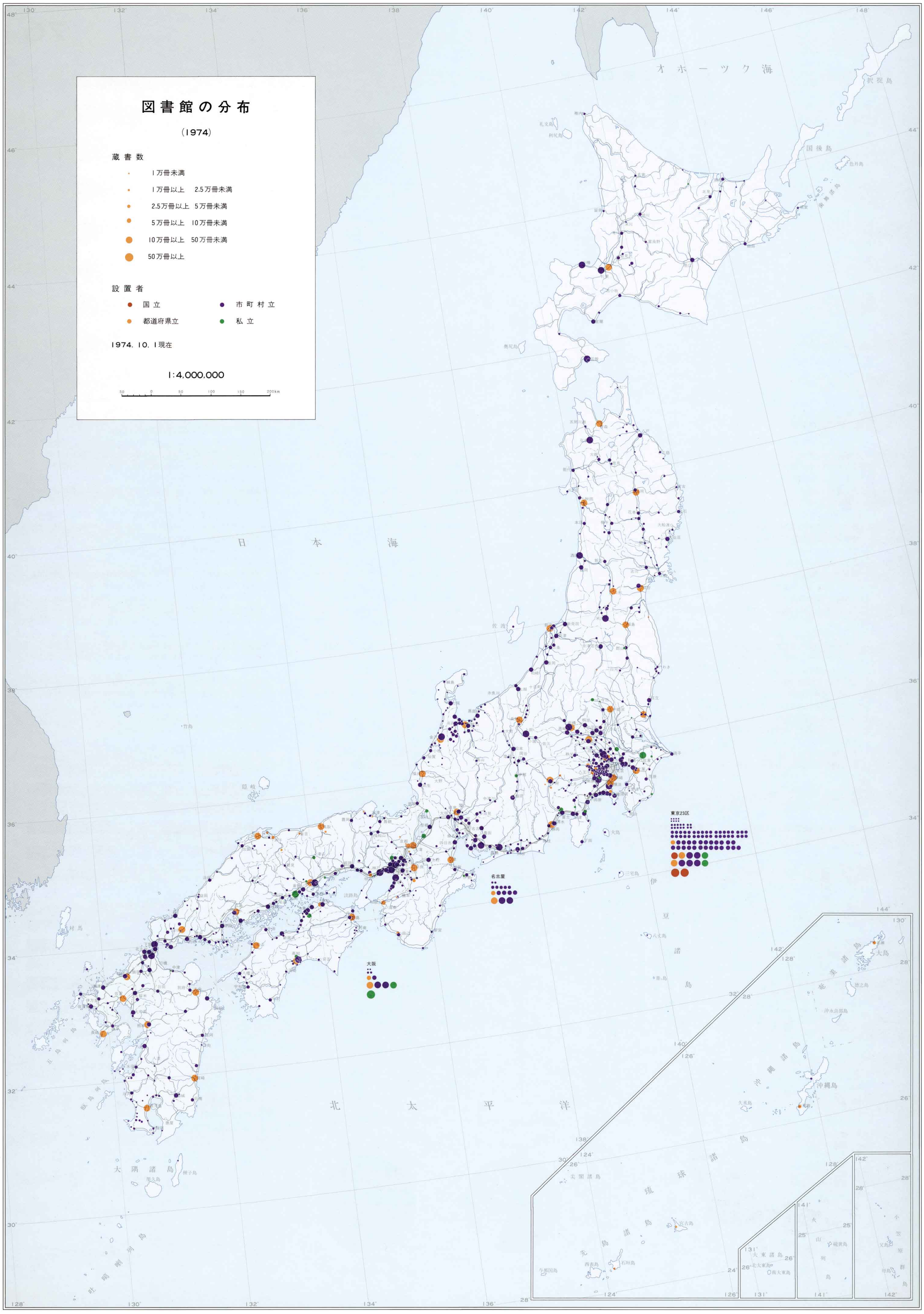
（科学技術研究調査報告から作成）

研究費の推移

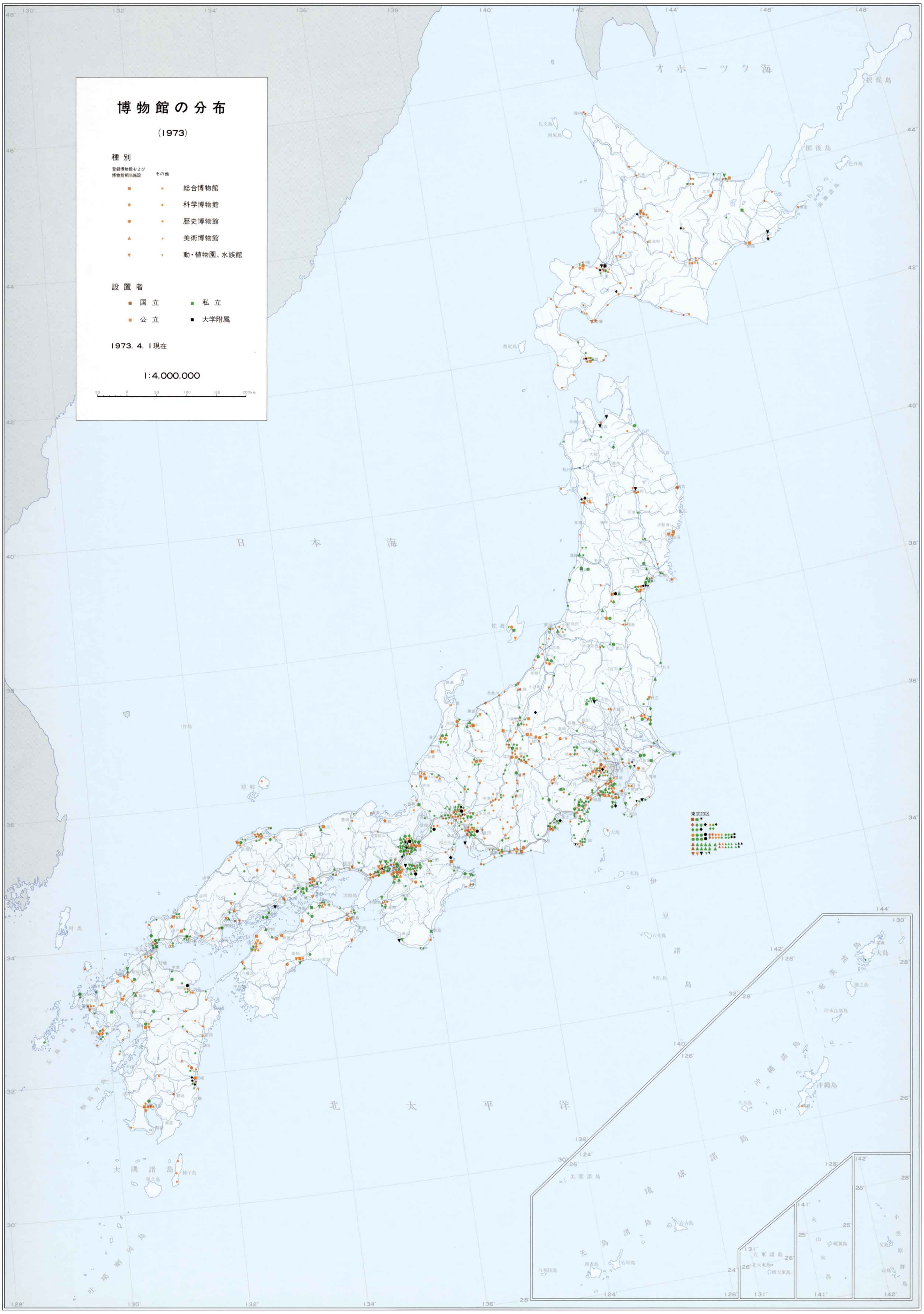


（科学技術研究調査報告から作成）

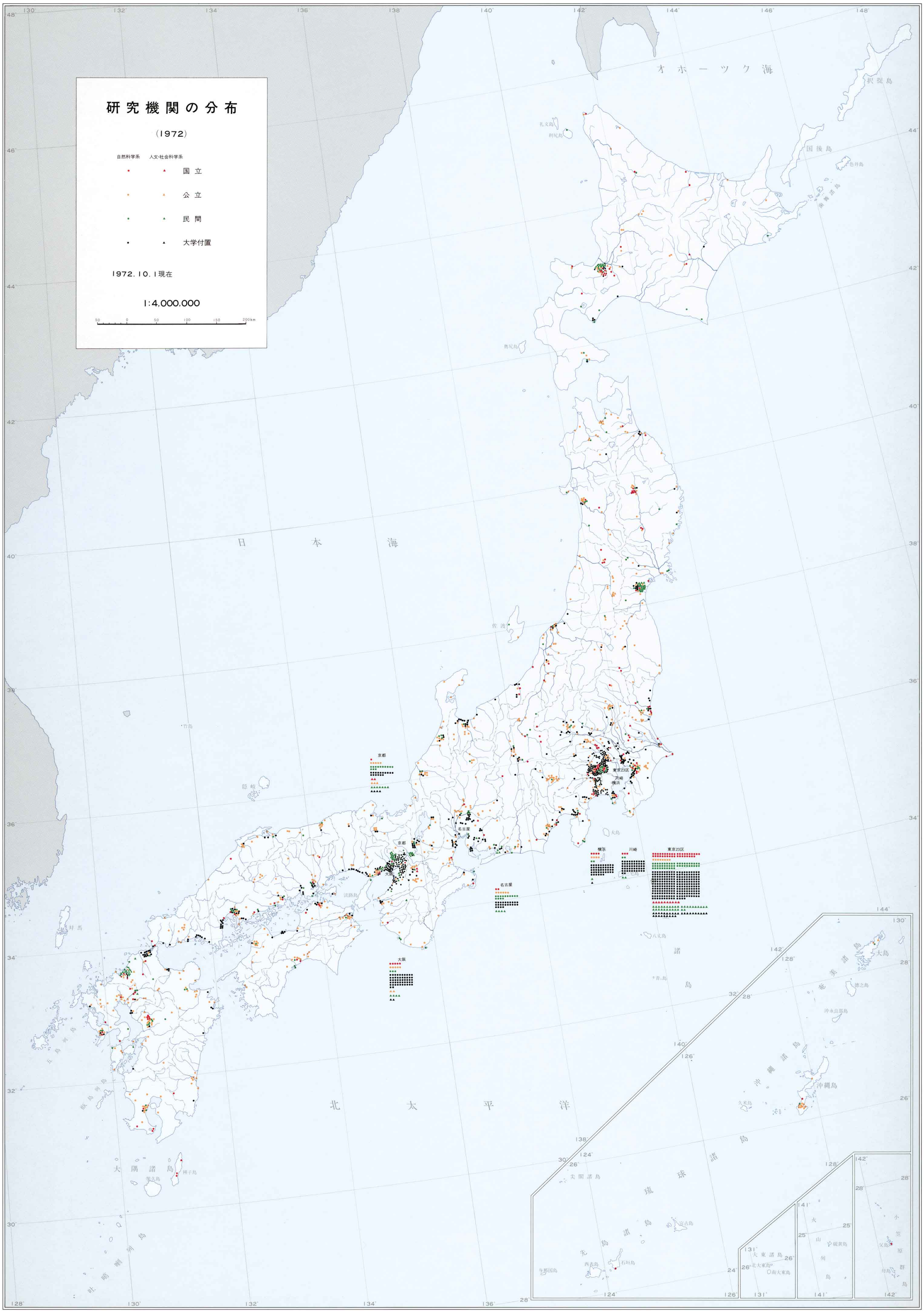
76.1


図書館の分布
(1974)
蔵書数
1万冊未満
1万冊以上 2.5万冊未満
2.5万冊以上 5万冊未満
5万冊以上 10万冊未満
10万冊以上 50万冊未満
50万冊以上
設置者
国立
市町村立
都道府県立
私立
1974. 10. 1現在
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
東京23区
名古屋
大阪

76.2


博物館の分布
(1973)
種別
登録博物館および博物館相当施設
その他
総合博物館
科学博物館
歴史博物館
美術博物館
動・植物園、水族館
設置者
国立
私立
公立
大学附属
1973. 4. 1現在
1:4,000,000
オホーツク海
日本海
北太平洋
東京23区

研究機関の分布


研究機関の分布
(1972)
自然科学系
人文・社会科学系
国立
公立
民間
大学付置
1972.10.1現在
1:4,000,000
50 0 50 100 150 200km
オホーツク海
日本海
北太平洋
琉球諸島
沖縄諸島
大隅諸島
択捉島
国後島
色丹島
歯舞諸島
礼文島
利尻島
奥尻島
佐渡
隠岐
竹島
対馬
壱岐
五島列島
飯島列島
種子島
屋久島
吐噶喇列島
大東諸島
沖縄島
久米島
宮古島
石垣島
西表島
与那国島
尖閣諸島
大島
八丈島
青ヶ島
硫黄島
父島
母島
小笠原群島
京都
大阪
名古屋
横浜
川崎
東京23区